

地域トピックス

◆季節の料理を食卓に(遠野町)

「季節の料理教室～春～」(遠野・綾織地区センター主催)が2月26日・28日の両日、市民センター実習室で開かれました。

あえりあ遠野の伊藤勉総調理長を講師に、ひな寿司やひし卵、たけのこ料理など、旬の食材を使った季節感いっぱいの料理の数々を学びました。参加者は、家庭の食卓にも並べられるようにと、講師の手さばきを見ては積極的に質問をして、プロの技術の習得に一生懸命でした。



講師の手さばきを真剣に見つめる参加者

◆みんなで地域づくりを(宮守町)

宮守町地域づくり推進大会(宮守町地域づくり連絡会主催)は2月25日、みやもりホールで町民ら約180人が参加して開催されました。

町内の小中学生4人が、日ごろ活動しているスポーツ少年団での体験や、社会見学で学んだことなど意見発表したほか、神楽の披露や講演会などが行われました。

参加者は、これからの地域づくりに積極的に生かそうと、それぞれの発表に真剣に耳を傾けていました。



鱒沢神楽を披露する上鱒沢子供会の皆さん



杉山さんの指導に、熱心に聞き入る子どもたち

◆トップレベルの技を学ぶ

元日本代表でNHKバレーボール解説者の杉山明美さんを招いたバレーボール教室が三月二十四日、市民体育館で開かれ、市内の小中学生や指導者百四十人が参加しました。

杉山さんは、脳の判断をスムーズに体に伝えるコーディネーショントレーニングや、トスやレシーブなどのバレーの基本動作を分かりやすく指導。参加者は、杉山さんのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。

宮守中学校バレー部の千田直美さんは「基本を学び、とても勉強になりました。これを土台に日ごろの練習に励みたいですね」と話していました。



各地域を代表する十種類の鍋が振る舞われたナベナベサミット

◆鍋を食べて元気を発信!

第七回北東北ナベナベサミット(あやおり夢を咲かせる女性の会主催)は二月二十四日、たかむろ水光園芸能館で百二十人が参加して開かれました。

この催しは、青森、秋田、岩手の女性グループの主婦らが、毎年地域を持ち回りで開催。「鍋と漬物・地酒 食べて飲んで語り元気を発信」をテーマに、今回は各地域に伝わる自慢の鍋や地酒などが振る舞われ、参加者らと交流を深めました。

東京都から訪れた大学院生の加藤貴規さんは「遠野だけでなく、いろいろな地域の鍋が食べられてとても満足です」と笑顔で話していました。

◆ひなまつりで街ににぎわい

遠野町家のひなまつり(遠野商工会主催)は二月二十八日から三月四日まで開催され、県内外から訪れた多くの観光客らで賑わいました。

八回目となる今年は、遠野駅周辺の商店街など五十七カ所でのひな人形などを公開。観光客からは、商店などを一軒一軒巡りながら、各家に伝わるひな人形を楽しみました。

また、四日には日本子守唄協会理事長の西館好子さんが「ちよボラ」を会場に「ひなまつり子守唄コンサート」を開催。心温まる歌声と懐かしい唄の数々に、集まった約二百人の観客は時間を忘れて酔いしれました。



各家に伝わるひな人形を見て楽しむ観光客ら

◆歌や踊りが大好き、100歳

三月二日に百歳を迎えた青笹町の千葉コノさんに同四日、自宅を訪問した本町市長から、市からの記念品として、黒二ツ引きタンスと花束が贈られました。

コノさんは青笹町生まれ。結婚後、大槌釜石に住み、ご主人を早く亡くしたことから、息子さんと二人で一家を支えてきました。

十数年前に病気をしたところから歩行が難しくなり、現在は車椅子を利用し、週三回デイサービスに通っています。耳が遠いものの、何でも良く食べ、普段はテレビを見ながら過ごし、手をたたいたり、踊るまねをしたり、歌や踊りが好きなそうです。



デイサービスセンターでは、笑顔が人気の千葉コノさん



子を思う全国各地の子守唄が披露されたコンサート



会長の本町市長がチームの代表者に賞状を贈呈

◆さらなる安全運転を誓う

無事故無違反百五十日コンクール賞状交付式(市交通安全対策協議会主催)は三月十五日、あえりあ遠野中ホールで行われました。

同コンクールは、昨年八月十一日から今年一月七日まで行われ、職場など五人のメンバーで編成した百九十三チームが参加しました。期間中、無事故無違反を達成した百六十五チームに賞状が贈られました。

遠野警察署の豊岡茂署長は「シートベルトの着用と同じように、安全運転への意識付けとしてライトの早め点灯を実践してほしい」と呼び掛けました。